リーズン（Reason, J.）のスイスチーズ・モデルに関する記述として妥当なのはどれか。

1．重大な傷害事故，軽い傷害事故，傷害のない事故が1対29対300の比率で発生しているとして，重大な傷害事故を防止するには，傷害に至らなかった数多くの事故の分析をし，そこに見出される問題を改善する必要があるとした。

2．人間の行動・判断のパターンを三つの段階に分類し，経験を蓄積して作業に習熟するにつれ，知識ベース，ルールベース，スキルベースへと変化することを示した。

3．医療事故の発生に関して，患者への処置や治療の業務に関する失敗が発見・訂正されないままスタッフに引き継がれると，引き継がれた者は失敗に気付くことが困難になり，より危険が増幅されていくとした。

4．事故の発生を防ぐため，安全のための防護が幾重にも設けられているが，一つ一つの防護には欠陥があるため，偶然にも防護の穴が重なったときに，危険がその穴を通り抜けて重大事故に至るとした。

5．作業現場において，作業者の無理や無駄を減らし，作業能率の向上や作業者の軽減を図るために，身体の使用，作業現場の配置，道具・設備の設計の三つの側面についての指針を示した。

（正答　4）

「児童養護施設入所児童等調査の概要（平成30年2月1日現在）」にみる社会的養護の状況に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1．里親委託となった児童の委託経路をみると，「児童養護施設から」が最も多く，次いで「家庭から」，「乳児院から」の順となっている。

2．児童自立支援施設における入所児童の就学状況をみると，「小学校高学年」が最も多く，次いで「小学校低学年」，「中学校」の順となっている。

3．乳児院の入所児童のうち，被虐待経験のある児童が受けた虐待の種類をみると，「身体的虐待」が最も多く，次いで「心理的虐待」，「ネグレクト」の順となっている。

4．児童養護施設の入所時の児童の保護者の状況をみると，「両親ともいない」が最も多い。

5．母子生活支援施設への入所理由をみると，「配偶者からの暴力」が最も多い。

（正答　5）